

伊那市人権同和教育講座 まほらいな市民大学の様子

令和8年1月17日（土）

『 夢 と 絆 』

講師：新潟産業大学経済学部特任教授 蓮池 薫 氏



北朝鮮による拉致被害者の蓮池薫さんのお話を聞きました。蓮池さんは、昭和53年大学生のときに拉致され、「招待所」と呼ばれる隔離された住居での生活となりました。自由を奪われ非人間的な中で、朝鮮語を学んだり、作業員に日本語を教えたりして、24年間拘束された生活が続きました。『北朝鮮は、拉致被害者や親族の高齢化が進む中、拉致問題を日本が諦めるまで待とうという長期戦に持ち込もうとしている。私は拉致問題を若い世代の人たちに伝え、この拉致問題への関心を絶やさないようにしたい。そして、北朝鮮に政治的決断をさせるよう活動していきたい。』と語りました。

学生からは、「とても考えの及ばない拉致問題の本当のことを蓮池さんから聞いたことは衝撃的なことでした。拉致問題を本気で考えるきっかけになりました。」「蓮池さんから拉致について筋道を立ててわかりやすくお話いただき、若い人たちになぜ伝えていかなければならないか理解できました。横田めぐみさんをはじめ拉致された全員が、横田早紀江さんが生きていうちに帰ってきてほしいと強く思います。」「体験を通したお話で心に迫るものがありました。拉致問題を解決するための時間が迫って来ています。知識を持って平和のために行動していきたい。』といった感想がありました。